

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和2年度 技術情報第10号(普通期水稻のトビイロウンカ及び
コブノメイガ)について (送付)



普通期水稻のトビイロウンカ及びコブノメイガについて、予察灯等での誘殺状況やほ場での発生状況を以下のとおり取りまとめましたので送付します。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (www.jpnn.ne.jp/kagoshima) にも掲載しています。

令和2年度 技術情報第10号

1 対象病害虫 トビイロウンカ, コブノメイガ

2 対象作物 普通期水稻

3 飛来及び発生状況等

(1) トビイロウンカ

本年の予察灯や水銀灯では6月28日頃と7月4日頃に誘殺ピークが認められた(表1)。7月上旬の巡回調査(調査ほ場数62)では発生ほ場率が52%と平年(4%)に比べて高かった(表2)。

(2) コブノメイガ

フェロモントラップでの誘殺数は7月1~4日, 7月8~12日に多く認められ(表1), 7月上旬の巡回調査では発生ほ場率が5%と平年並であった(表2)。

4 防除対策及び防除上注意すべき事項

(1) トビイロウンカ

(ア) 防除適期は6月28日飛来虫に由来する第1世代幼虫が7月16~22日, 第2世代幼虫が8月15~22日, 7月4日飛来虫に由来する第1世代幼虫が7月21~27日, 第2世代幼虫が8月20~26日と予想される(図1)。

(イ) 特に, 飼料用稲などの育苗箱施用剤を使用していない場合, あるいは, ウンカ類に効果が高いトリフルメゾピリム剤以外の育苗箱施用剤を用いている場合は, トビイロウンカの生息密度が上昇する可能性が高いので, 十分注意する。

(ウ) 本虫は稲の株元に生息するので, 粉剤や液剤で防除する場合は, 薬剤が株元に十分届くように散布する。

(エ) 薬剤散布に当たっては, 農薬の使用基準を遵守し, 薬剤の飛散防止に努める。

(2) コブノメイガ

(ア) 7月1日及び7月8日飛来虫に由来する第1世代虫の発蛾最盛日は、8月2日頃及び8月8日頃と予想される(図1)

(イ) 本種の防除適期は、発蛾最盛日の7~10日後(幼虫ふ化揃い期)で、薬剤散布は粉剤または液剤の場合は発蛾最盛日の7~10日後、粒剤の場合は発蛾最盛日頃に行う。

(ウ) 特に、飼料用稲などの育苗箱施用剤を使用していない場合は、コブノメイガの生息密度が上昇する可能性が高いので、十分注意する。

(エ) 止葉を含む上位3葉への被害は収量・品質に影響するので、飛来第1世代の成虫の発生が多い場合は第2世代幼虫を対象とした防除を行う。

表1 予察灯等でのウンカ類及びコブノメイガの誘殺状況(2020年)

日付	60W予察灯(水田)						ジョンソフリップ			フェロモン	100W水銀灯(畑)			
	南さつま市			さつま町			南さつま市			南さつま市	南さつま市			
	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ヒメビ ウンカ	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ヒメビ ウンカ	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ヒメビ ウンカ	コブノ メイガ	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ヒメビ ウンカ	コブ メイガ
2020/6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6/2	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0
6/3	36	0	0	0	0	0	1	0	0	28	40	0	0	0
6/4	18	0	0				0	0	0	3	12	0	0	0
6/5	21	0	0	1	0	0	0	0	0	23	9	0	0	2
6/6	1	0	0				0	0	0	19	2	0	0	0
6/7	4	0	0				0	0	0	19	1	0	0	1
6/8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0
6/9	0	0	0				0	0	0	6	0	0	0	0
6/10	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	6	0	1	0
6/11	0	0	0				3	0	0	9	4	0	0	0
6/12	1	0	0	4	0	0	4	0	1	5	7	5	7	0
6/13	1	0	0				4	0	2	0	2	0	2	0
6/14	1	0	0				20	0	0	13	0	0	0	0
6/15	50	0	0	2	0	0	16	0	2	33	57	0	9	0
6/16	28	0	0				3	0	0	26	2	0	0	0
6/17	21	0	0	162	0	0	1	0	0	27	28	0	2	0
6/18	1	0	0				12	0	1	35	0	0	0	0
6/19	28	0	0	5	0	0	7	0	3	12	6	0	2	0
6/20	20	0	0				3	0	0	0	2	0	2	1
6/21	2	0	0				1	0	0	0	1	0	0	1
6/22	1	0	1	27	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
6/23	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0
6/24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0
6/25	2	0	0				0	0	0	4	2	1	2	0
6/26	8	1	0				3	0	0	1	0	0	0	0
6/27	0	0	0	0	0	0	4	2	5	5	1	8	3	0
6/28	163	72	8				2	3	1	8	79	162	96	1
6/29	33	2	0	45	12	3	2	0	0	8	6	0	1	0
6/30	29	0	4				3	1	0	1	0	3	4	0
6月計	471	75	13	247	12	4	91	6	15	336	268	179	132	7
7/1	6	0	1	26	11	3	0	0	0	20	3	2	3	0
7/2	27	4	1				0	0	0	3	27	1	6	0
7/3	0	0	0	11	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0
7/4	251	45	2				8	8	0	17	361	99	26	1
7/5	541	6	2				17	13	1	7	225	29	10	0
7/6	117	6	2	462	403	18	0	0	0	5	88	12	11	0
7/7	1	0	0				1	2	0	6	0	0	0	0
7/8	65	8	0	14	11	2	4	1	0	16	138	7	8	0
7/9	13	2	0				1	0	0	20	13	0	0	0
7/10	0	0	0				-	-	-	16	0	0	0	0
7/11	7	3	1				0	0	0	9	1	4	5	1
7/12	7	0	0				0	0	0	33	3	0	0	0
7/13														
7/14														
7/15														
7月計	1,035	74	9	513	426	24	35	25	1	152	859	154	69	2
6~7月計	1,506	149	22	760	438	28	126	31	16	488	1,127	333	201	9

注: -は、欠測

表2 巡回調査におけるトビイロウンカおよびコブノメイガの発生状況

地域名	調査ほ場数	発生ほ場率 (%)			
		トビイロウンカ		コブノメイガ	
		本年	平年	本年	平年
南薩	10	50	3	0	9
北薩平坦	24	71	3	8	11
北薩山間	22	45	6	5	9
大隅	6	17	2	0	5
県計 (平均)	62	52	4	5	9

※ 調査日：2020年7月3～9日

※ 平年は2010年～2019年の平均値

※ 巡回調査地点

南 薩：南九州市知覧町永里・川辺町 古殿・川辺町 勝目
日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦：鹿児島市東佐多町，始良市蒲生町楠田・三拾町，霧島市隼人町住吉・国分上小川
薩摩川内市宮崎・高江・入来町浦之名

阿久根市鶴川内，出水市野田町屋地・高尾野町東干拓・六月田

北薩山間：さつま町 宮之城平川・時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手
伊佐市菱刈前目・田中・大口金波田・大田・山野，湧水町 北方

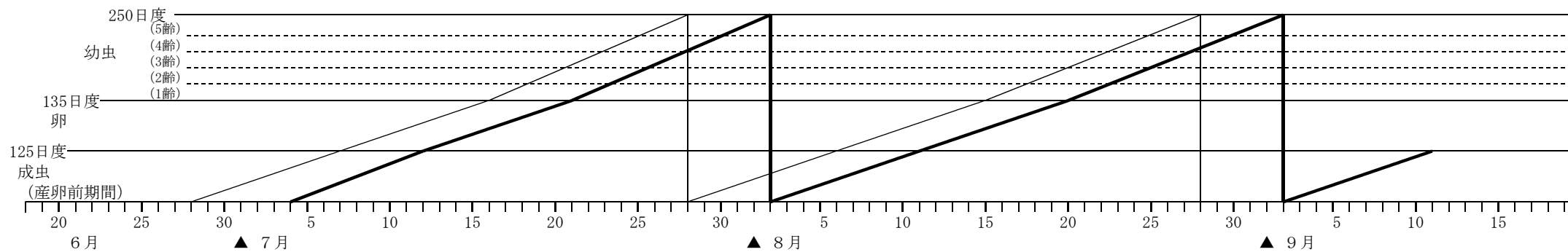
大 隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里

図1 トビイロウンカ・コブノメイガの有効積算温度による発生経過予測図（アメダスポイント：加世田のデータを使用）

2020年7月13日 作成

鹿児島県病害虫防除所

1. トビイロウンカ



2. コブノメイガ

